



裏磐梯だより

No.91

2018年7月



▲夏の毘沙門沼

毘沙門沼は、五色沼自然探勝路の沼のなかで最大の沼です。標高780m、周囲約4km、面積約10ha、深さ約13mの沼です。沼の水は無色透明です。沼の色は主にターコイズグリーン（緑が強い青緑色）ですが、ターコイズ（青緑色）になることもあります。

毘沙門沼の名前の由来はわかりませんが、五色沼自然探勝路のなかで一番大きな沼であることなどから、毘沙門天からつけられたのではないのでしょうか？ 毘沙門天は四天王の一人で北方の守護神です。四天王がそろっているときは多聞天といい、独尊のときは毘沙門天といいます。戦国武将の上杉謙信は、春日山城内にある毘沙門堂に毘沙門天を安置し、熱心に祈っていました。

ターコイズグリーンやターコイズに変化する毘沙門沼の四季をお楽しみください。

～大きいだけじゃない!?「オオウバユリ」～

オオウバユリ
(ユリ科ウバユリ属)

北海道と本州（中部以北）に分布し、湿り気のある林などに生育しています。7月下旬頃から、黄緑色をおびた白色の花を10個ほどつけ、背丈は1mから、大きいものでは2mほどにもなります。



一生に一度だけ

オオウバユリは、一生に一度だけ花を咲かせて実をつけ、その一生を終える一回繁殖型の植物です。



もうひとつの術
 枯れた球根には、**娘鱗茎**と呼ばれる新しい栄養繁殖体がついており、そこから新しい葉を出して増えることもできると言われています。

春になると、**光沢のあるツヤツヤ**とした葉を出します。はじめの年は1枚葉で、1年ごとに葉の枚数を増やしながらか大きくなっていきます。

7年から10年ほどかけて、根に十分な栄養をたくわえると、ある年、株の中心から太い茎を伸ばします。



実は上向きにつき、1つの実には**約500個**の種子が入っています。



茎の先についた大きな花芽のなかには、複数の花のつぼみが入っています。少しずつ成長しながらほころんでいき、横向きの花が開きます。



自然解説員の巡視日記 その8

2018年7月16日 晴れ



秋元・中津川渓谷探勝路

きらめく彼の^{あし}脚は・・・

夏に秋元・中津川渓谷探勝路を歩くと、コムラサキという^{はね}翅が紫色に輝くチョウがみられることがあります。中津川渓谷探勝路の近くにはコムラサキの幼虫が食樹としているヤナギ類が生えているため、コムラサキをみることができるのです。コムラサキの成虫は樹液や人の汗、獣の糞に好んで集まったり、川原や湿った地面に下りて吸水したりすることが多いです。

さて、この綺麗なコムラサキをよく観察してみると、脚が4本にみえます。昆虫の脚は6本のはずですが、なぜでしょう。じつは、コムラサキが属するタテハチョウ科のチョウは前脚2本が退化して、基本的にたたまれているため、4本にみえてしまうのです。この退化してしまった脚は、歩くことやつかまるためには役に立ちません。しかし、味を感じることができるのです。本来の脚の使い方より、こちらの方が生きていく上で有利だったのでしょうか。

昆虫は脚が6本という固定概念にとらわれていると、コムラサキのような脚が一見4本にみえるという発見はできないかもしれません。脚が4本にみえるということに気づけなければ、退化した脚の役割にも気づけません。昆虫に限らず何にもとらわれず観察することが新たな発見に繋がるのではないのでしょうか。



▲中津川の流れ



▲脚が4本にみえるコムラサキ

🌸 にとっておき！自然発見メモ 📖

自然解説員が自然のなかでみつけたとっておきの情報をおすそわけします！

7月9日



ババシロアシマルハバ千の幼虫

白くフワフワした毛にみえるものは、「ロウ物質」です。なぜこんな見た目をしているのでしょうか？
何はともあれ、可愛い！

7月9日



アケビコノハの幼虫

頭を下げて体をくねらせる独特のポーズと、ギョロリとした目玉模様が何ともチャーミングな幼虫です。アケビ類の葉にいるかも！？

7月22日



セミの羽化

普通は暗くなってから羽化するのに、14時頃に羽化していました。寝坊なのか早起きなのか。セミの羽化はいつみても神秘的です。

夏休みイベントのお知らせ

● わくわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。

受付時間：随時

所要時間：30分程度

参加費：100円（小学生以下無料）

定員：10名

● 五色沼スライドトーク

磐梯山の噴火や五色沼の水の不思議などについて、スタッフがスライドを映しながらお話します。

開催曜日：月・水・金・日

開催時間：14：00から

所要時間：20分程度

参加費：無料

● むしむしスライドトーク

昆虫の特徴をお話ししたり、昆虫に関するクイズを出したりします。目指せ、昆虫博士！

開催曜日：火・木・土

開催時間：14：00から

所要時間：20分程度

参加費：無料

● 夏休み期間は毎日開館

7月16日～8月31日は夏休み期間として、毎日開館しています。ぜひ、お立ち寄りください。

／ お待ちしています！ ／



ぬりえに新しい仲間が登場！

定番となったぬりえコーナーには、夏休み限定で昆虫の仲間たちが登場しています。アサギマダラやクワガタ、スズメバチなど全部で10種類です。完成したぬりえは500円で缶バッジにすることもできます。世界に1つだけのオリジナル缶バッジにしてみませんか？



▲ぬりえコーナー



▲新登場の昆虫の仲間たち

《編集・発行》裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会 2018/7/31 ※裏磐梯だよりの営利目的での使用をお断りします。

* 定期購読のお知らせ *

ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚（奇数月発行1年間分）を同封し裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701

開館時間 9：00～17：00 入館無料 TEL 0241-32-0850 FAX 0241-32-2851

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093 休館日 夏休み期間は無休

ホームページ <http://www.urabandai-vc.jp>